

# 平成30年度 甲府市公共事業評価委員会 会議録

## 【委員長】

議案第1号 審議対象事業の審議についてであります。  
事務局より説明をお願いします。

(事務局から審議対象事業の説明)

ただいま、事務局より説明がありましたが、委員会設置要綱第2第1項1号の規定により評価を実施する事業の一覧表から審議対象事業を抽出することとされております。

また、審議対象事業の抽出については、委員会運営要領第5で、「公共事業評価実施事業一覧表」の中から委員の議決により決定するとされております。本年度は2事業ですので、この2事業、すべてを対象事業として審議を進めてまいりたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

では、一覧表の事業につきまして、審議を進めてまいりますので、議事進行にご協力をお願いします。

対象事業の担当者の入室をお願いいたします。

## 【委員長】

「公共下水道」における社会資本整備総合交付金事業（社会資本整備総合交付金）の中間評価について、担当者から説明をお願いします。

(事業担当者からの説明)

## 【委員長】

ただいま、担当者から事業の説明がありました「公共下水道」における社会資本整備総合交付金事業（社会資本整備総合交付金）について、何かご質問、あるいは、ご意見がございますか。

**【委員長】**

当初に設定した最終目標値を途中で変更してしまうことは、当初の計画により国から交付金が交付されているのに許されるものですか。

**【事業担当者】**

変更する経緯と必要性について委員の方々に説明させていただき、変更の妥当性について委員会として了承していただければ、その結果を国に報告することで、変更することは可能となっております。

**【委員長】**

わかりました。説明を聞いていると努力すれば目標値が達成できるものではなく、様々な要因により、目標値を達成するのは物理的に困難ということですね。

**【事業担当者】**

できる限りの努力はしていく中で、整備可能な地域から進めていくとともに、交付金対象外の地域の整備も進めていこうと思います。

**【委員長】**

今年は全国的に、異常豪雨や台風により雨水処理ができず、甚大な被害が発生してしまったが、これまでの甲府市における状況について教えてください。

**【事業担当者】**

過去には膝下まで浸水した箇所もありましたが、昨今、ニュースで取り上げられているような甚大な被害はありませんでした。また、国の交付金の対象となるには、ある程度の面積と常習的に浸水する場所が対象となる可能性が高いが、甲府市には該当する場所が見当たらない状況となっております。

**【委員】**

指標②雨水渠幹線の沼川幹線と相川幹線の場所を教えてください。また、この2つの幹線と工事の関係性も教えてください。

### 【事業担当者】

(担当者が地図を提示し位置を確認)

まず沼川幹線については、国土交通省所管の国道52号線の道路改良工事に併せて、下水道整備を行っていくつもりでしたが、道路工事が途中で休止したことから、本計画の整備工事の着手が困難となりました。次に、相川幹線については、地下埋設物の関係や、山梨県の電線共同溝の工事が先行して施工された関係により、設計の見直しが必要となり、当初計画どおりに整備が進められない状況になっています。

### 【委員】

沼川幹線については、当初の計画時に国土交通省が行う道路改良工事の計画などを確認しなかったのですか。また相川幹線についても、地下埋設物が錯綜していることなどは最初からわかるのではないですか。

### 【事業担当者】

まず沼川幹線については、国土交通省と事前に協議を行った中で、道路改良工事と併せて、計画的に整備をする予定でした。次に、相川幹線については、ご指摘のとおり地下埋設物は調査の段階でわかっていましたが、それ以外に山梨県の電線共同溝工事が先行して進んだ関係で、実施設計を変更しなくてはならず、遅れが生じました。

しかし、現在は山梨県の工事が完了していることから、事業費を確保する中で整備を進めていきたいと考えています。

### 【委員】

沼川は石田地区を通過して国母地区の方に流れているが、異常豪雨などの対応や河川環境の保全のために、川の流れを良くすることのほか、雨水が地下に流れやすくするようにお願いしたい。

### 【事業担当者】

沼川が流れている石田地区については、比較的道路冠水が多い地区なので、現地調査や実態調査を踏まえる中で、計画的な雨水渠の整備により道路冠水に対応していきたいと思います。

**【委員】**

相川幹線について、地下埋設物が錯綜している関係で事業が遅れている旨の説明があったが、整備の遅れによる影響や被害などはないのか。また、その間の代替的な措置は行わないのか教えてください。

**【事業担当者】**

現在、一時的に複数の雨水渠へ分散して流下させることにより、大きな支障は出ていないが、今後は実施設計の見直しを行う中で整備を実施したいと考えています。

**【委員】**

沼川幹線について、国の工事の進捗による影響で計画を変更している旨の説明があったが、国の工事再開後は、どのように下水道整備を行っていくのですか。

**【事業担当者】**

国と設計協議を行う中で、道路の拡幅にあわせて雨水渠の位置を確定し、工事を進めていきたいと考えています。

**【委員長】**

他に何かご意見等がありますでしょうか。

無いようですので、ご審議いただきました「公共下水道」における社会資本整備総合交付金事業（社会資本整備総合交付金）の中間評価について、妥当かどうかお諮りいたします。

「妥当」という判断でよろしいでしょうか。

**【委員一同】**

異議なし。

**【委員長】**

ありがとうございました。

異議なしということで、この案件につきましては「妥当」と決定いたします。

なお、運営要領第8に、必要があると判断した場合には、会議における検討結果を少数意見も含め取りまとめて、市長に対し意見を述べることになっております。

これまでに出示された意見を取りまとめさせていただきますが、何か付け加えておきたい意見がありますでしょうか。

**【委員】**

先ほど、矢野委員からの意見で、異常豪雨時により増水した河川について、流れを良くするために、河川の浚渫などを行っていただきたい旨の話がありましたが、この内容を付け加えたらいかがでしょうか。

**【委員長】**

そうですね。意見として市長に伝えたいと思いますが、皆様いかがでしょうか。

**【委員一同】**

異議なし。

**【委員長】**

それでは、先ほどの矢野委員からの意見を付け加えさせていただきます。

**【委員長】**

続きまして、「公共下水道」における社会資本整備総合交付金事業（防災・安全交付金）の中間評価について、担当者から説明をお願いします

（事業担当者からの説明）

**【委員長】**

ありがとうございました。

ただいま担当者から事業の説明がありました「公共下水道」における社会資本整備総合交付金事業（防災・安全交付金）の中間評価について、何かご質問、あるいは、ご意見がございますか。

**【委員】**

資料 8 ページに、マンホールトイレを指定避難所 7 箇所を設置とあるが、マンホールトイレの仕組みを教えてください。また、指定避難所の設置数と、今後の避難所におけるマンホールトイレの設置予定についても教えてください。

**【事業担当者】**

(マンホールトイレの説明について、図面を使用し説明)

指定避難所は 60 件あり、マンホールトイレも計画的に設置します。

**【委員長】**

計画に位置づけた管路の耐震化率について、目標最終年度まで 1 年と数ヶ月しかないが、平成 29 年度末の実績状況から考える中で、最終目標値を達成する見込みについて教えてください。

**【事業担当者】**

管路の耐震化については、総合地震対策計画の 5 ヶ年計画の中で整備を行っているが、概ねこの計画どおりに進捗しており達成する予定です。

**【委員】**

管路の長寿命化は、およそ何年位を想定しているのか。また、浄化センターは老朽化が進んでいるように思えるが、施設の耐震化の状況について教えてください。

**【事業担当者】**

ヒューム管（コンクリートの下水道管）の標準的な耐用年数は 50 年といわれており、その対象は平成 29 年度現在で 60 キロ前後ありますが、管路調査を行った結果、その中には状態が良い健全な管路が含まれているため、6 キロを長寿命化計画に位置付けて計画的に整備しています。

また、浄化センターについては、昭和 55 年から稼働しているが、主要施設は耐震診断を終えており、現在は、施設の耐震化工事のための実施設計を行っていますが、来年度からは、優先順位を付ける中で、計画的に補強工事を行っていきます。

**【委員】**

管路の改築について、対象管路はどのように選定していますか。

**【事業担当者】**

50年以上経過している管路の状況を点検・調査する中で、健全度の基準によりランク付けを行い、健全度の低い管路から改築を計画的に行っています。

**【委員】**

事前の調査により改築箇所を選定しているのであれば、8ページに記載されている目標値に至らない要因として、施工条件を満たさない角度や段差により布設替えや障害物の撤去に時間を要したという理由については、事前に分かることなので不自然ではないですか。

**【事業担当者】**

事前調査段階では、改築箇所を選定するための管路の状況を確認するための点検・調査を行います。また、施工前には、詳細なカメラ調査やN T Tなどの他の埋設物の状況を調査することから、施工条件を満たさない角度や段差、他の埋設物の状況が発覚することがあるため、資料に記載した内容となっております。

**【委員長】**

耐震対策について、想定している震度はどの位を考えていますか。

**【事業担当者】**

東海地震を想定しているので、震度6強を想定しています。

**【委員長】**

甲府市下水道BCPについて、もう少し分かりやすく説明してください。

**【事業担当者】**

地震編になりますが、東海地震が発生したときの被害を想定する中で、優

先的に遂行する必要がある業務などを選定した上で、人員・物資など利用可能な資源が大幅に制限された状況下においても効率的に当該業務が遂行できるよう、必要な資源の準備や対応・方針や手段などを定めたものになります。

**【委員】**

下水道の合流式と分流式の違いを教えてください。

**【事業担当者】**

合流式下水道は、雨水と汚水を同一管渠で排除するシステムですが、分流式下水道は、汚水と雨水を別々の管（汚水管と雨水管）で処理しており、汚水は浄化センターへ、雨水は河川に流しています。

**【委員】**

下水道の管更正による長寿命化対策を実施しているが、管更正の方法を教えてください。

**【事業担当者】**

（管更正の方法について、図面を使用して説明）

プラスチック樹脂等を既存の管の内側に入れてから、熱を加えるなどの方法で樹脂を膨らませて新たな管をつくります。なお、新管と同等以上の強度があるとともに、管の直径はひと周り小さくなりますが、粗度係数があがり滑りやすくなるので、既存の管よりも流れやすくなります。

**【委員】**

災害が起きてしまい、下水道機能に被害がでた場合には、およそ何週間ぐらいで復旧するのでしょうか。

**【事業担当者】**

場所や規模によっても違いますが、上下水ともに最低限の機能回復に4週間程度かかってしまいます。

**【委員長】**

他に何かご意見等がありますでしょうか。

無いようですので、ご審議いただきました「公共下水道」における社会資本整備総合交付金事業（防災・安全交付金）について、中間評価内容が妥当かどうかお諮りいたします。「妥当」という判断でよろしいでしょうか。

【委員一同】

異議なし。

【委員長】

異議がないようなので、この案件につきましては「妥当」と決定いたします。

この案件につきましても、運営要領第8に、必要があると判断した場合には、会議における検討結果を少数意見も含め取りまとめて、市長に対し意見を述べることになっております。

これまでに出示された意見を取りまとめさせていただきますが、何か付け加えておきたい意見がありますでしょうか。

【委員長】

以上で、審議を終了いたします。

議事進行に、ご協力いただきありがとうございました。

なお、本日の会議につきましては、先ほど司会からありましたとおり、議事録を公表することとなっております。

また、本日の審議内容を委員長名で市長に対して「意見書」として提出したいと思っております。

つきましては、議事録（案）、意見書（案）につきましては、私と事務局で集約、調整、文書化して、後日、委員の皆様へ郵送させていただきます、ご確認いただくという形でとりまとめたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

【委員一同】

異議なし。

【委員長】

それでは、そのような形でとりまとめさせていただきます。

他に、事務局から何かありますか？

(事務局連絡事項)

**【委員長】**

以上で、委員会を閉会いたします。